



第5期宮前区区民会議 第1回会議

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成26年4月25日（金）18:00～20:00

宮前区役所4階 大会議室

次 第

1 開会あいさつ

2 出席委員の紹介、事務連絡 **P2**

3 第5期宮前区区民会議の進めかた **P3～5**

4 正副委員長の選出

◆委員長 _____

◆副委員長 _____

※委員長、副委員長は選出後、座席をご移動ください（座席表を参照）

5 議事（地域課題把握アンケート結果をもとに） **P6**

6 その他の連絡事項

第1回準備部会日程	5月26日（月）18時より 区役所4階大会議室で行います
-----------	------------------------------

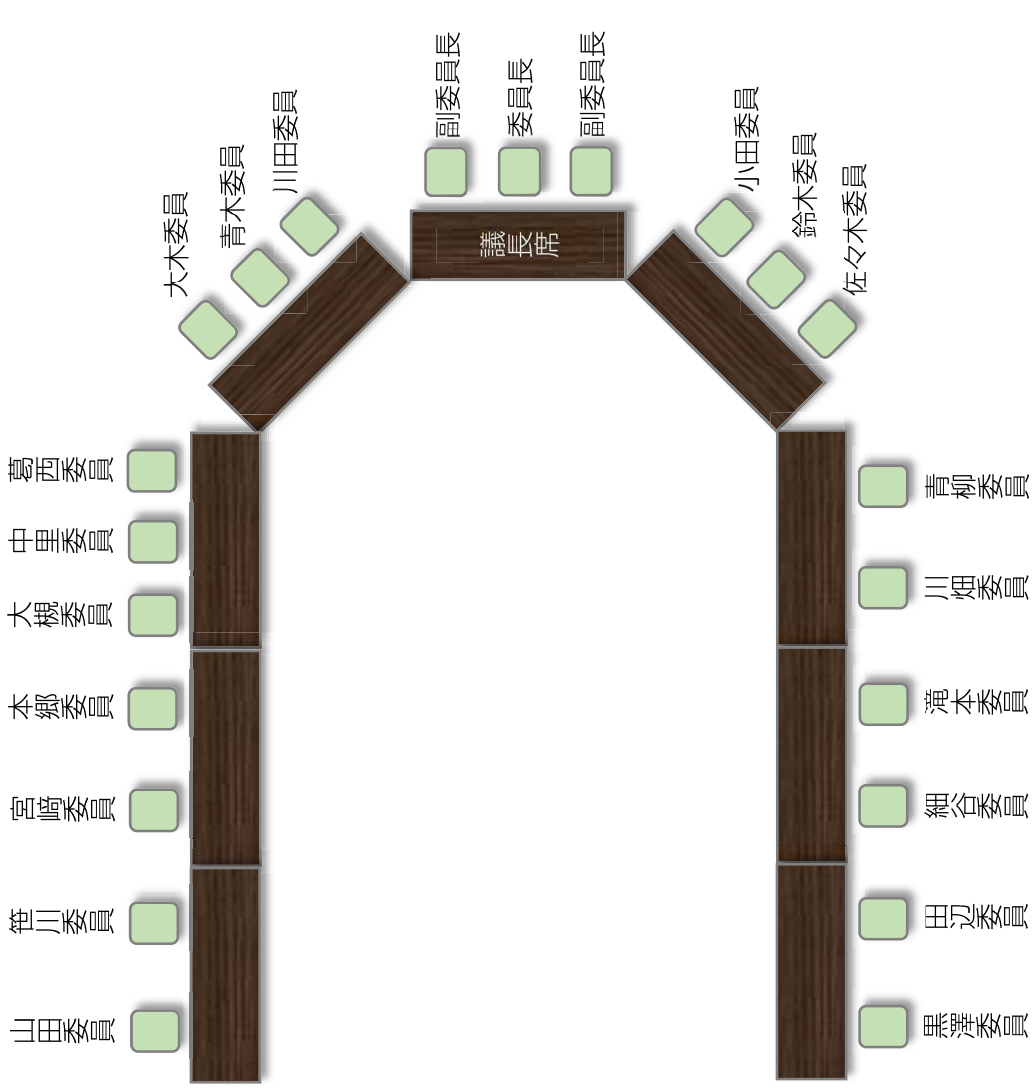
配布資料目次

- 1 座席表
- 2 第5期宮前区区民会議 委員・参与・事務局名簿
- 3 宮前区役所区民会議の枠組み
- 4 第5期の進行イメージ（2年間）
- 5 26年度前半のスケジュール案
- 6 地域課題把握アンケートのとりまとめ結果

別紙 [第2回準備部会、第2回全体会議の日程調整表]

第5期宮前区区民会議 第1回会議 座席表

平成26年4月25日 宮前区役所4階大会議室



事務局
 安河内 企画課担当係長
 小山 企画課担当係長
 秋山 企画課長

事務局
 野本 宮前区長
 豆白 副区長

参与

事務局
 古村 区民サービス部長
 堤 向丘出張所長

事務局
 益子 保健福祉センター所長
 鹿保 保健福祉センター副所長

参与

事務局
 青山 こども支援室長
 田村 道路公園センター所長

事務局
 山田 生涯学習支援課担当部長
 岩佐 総務課長

参与

報道席

傍聴席

傍聴席

出入口

出入口

傍聴受付

第5期宮前区区民会議 委員・参与・事務局名簿

氏名	分野など	所属団体	新／再	
川田 和子	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区自主防災組織連絡協議会	新任
青木 寅治		②福祉・健康	社会福祉法人宮前区社会福祉協議会	新任
大木 次郎			宮前区スポーツ推進委員会	新任
葛西 育子		③子育て・教育	宮前区子ども・子育てネットワーク会議	新任
中里 文雄			宮前区民生委員・児童委員協議会	新任
大槻 幹雄			宮前区地域教育会議	再任
本郷 一雄		④自然・生活環境	グリーンフォーラム21 みやまえ世話人会	再任
宮崎 孝		⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会	再任
笹川 進		⑥文化・観光	宮前区文化協会	新任
山田 桂		⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会（宮前地区）	新任
黒澤 克實			宮前区全町内会・自治会連合会（向丘地区）	新任
田辺 洋一郎		⑧地域特性	宮前区まちづくり協議会	新任
細谷 章子			宮前区まちづくり協議会	新任
滝本 久美			みやまえ情報ラボ	新任
川畑 武敏	公募		新任	
青柳 和美			新任	
太田 公子	区長推薦		再任	
佐々木 良司			再任	
鈴木 晴夫			新任	
小田 育子			新任	

参 与					
市議会議員	浅野 文直	石川 建二	石田 康博	織田 勝久	添田 勝
	竹田 宣廣	田村 伸一郎	矢澤 博孝	山田 晴彦	
県議会議員	飯田 満	土居 昌司	持田 文男		

事 務 局			
宮前区長	野本 紀子	副区長	豆白 保雄
総務課長	岩佐 弘司	企画課長	秋山 敏之
区民サービス部長	古村 重穂	向丘出張所長	堤 健一郎
保健福祉センター所長	益子 まり	保健福祉センター副所長	鹿俣 和氏
こども支援室長	青山 正彦	道路公園センター所長	田村 考司
生涯学習支援課担当部長	山田 友之	企画課企画調整担当係長	小山 貴志
企画課まちづくり支援担当係長	安河内 豪太郎		

平成26年4月1日現在

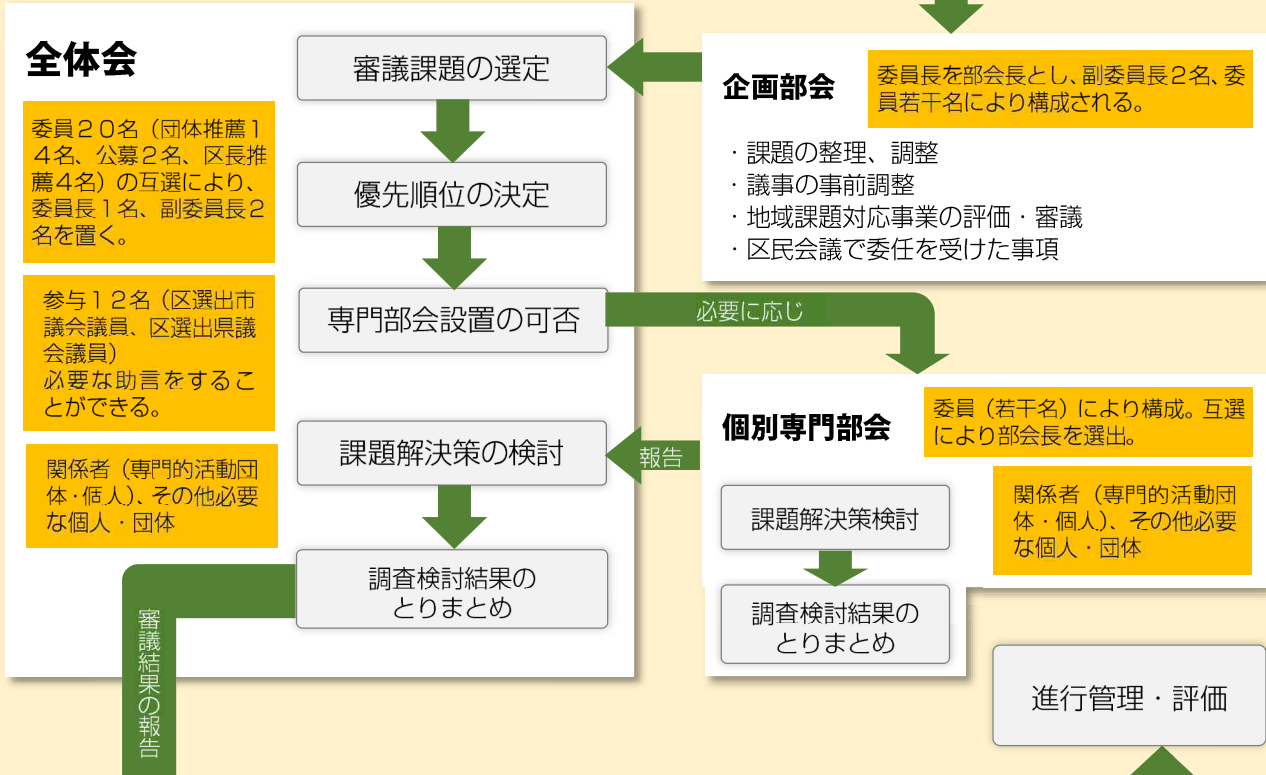
宮前区区民会議の枠組み

区民の暮らし、地域社会が抱える課題

課題の把握

- ・区民会議委員が日ごりの活動などを通じて把握した課題
- ・区役所が業務などを通じて把握した課題

区民会議



区長
(区役所)

審議結果（解決の方向、方策）を尊重し、解決に向けた取組

- おもに区民の自主的な取り組みによる解決
- 区民と区役所が協働で解決
- 関係局区の調整により市として解決
- 国・県など他の行政主体等により解決

課題解決への取組

解決に向けた参加と協働

それぞれの役割分担による取組



課題の解決

第5期宮前区区民会議の進行イメージ

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催予定		
26	4		4/3 事前打ち合わせ会		
			4/25 第1回全体会		
	5	◆地域の課題の検討 ◆審議テーマ選び	5/26 第1回準備部会		
	6		第2回準備部会		
	7	◆専門部会の発足 ◆各テーマの現状調査 ◆目指すべき姿、理想像の確認	第2回全体会		
			専門部会1-1	専門部会2-1	
	8		専門部会1-2	専門部会2-2	
	9		企画部会1	第3回全体会	
	10	◆解決すべき課題の洗い出し ◆先進事例のリサーチ	専門部会1-3	専門部会2-3	
	11		専門部会1-4	専門部会2-4	
			企画部会2	第4回全体会	
	12				
1	◆フォーラム開催内容の検討 ◆フォーラムの準備	専門部会1-5	専門部会2-5		
2		専門部会1-6	専門部会2-6		
		企画部会3	区民会議フォーラム		
3	◆アイデア出し ◆具体的解決策の検討	企画部会4	専門部会1-7	専門部会2-7	
4			専門部会1-8	専門部会2-8	
5		第5回全体会			
6		企画部会5	専門部会1-9	専門部会2-9	
7		専門部会1-10	専門部会2-10		
8		第6回全体会			
9	◆プラン作り	企画部会6	専門部会1-11	専門部会2-11	
10			専門部会1-12	専門部会2-12	
11		第7回全体会			
12		企画部会7			
27	1	◆第5期の総括 ◆フォーラム開催内容の検討 ◆フォーラムの準備	区長への提案		
	2		第8回全体会		
			企画部会8		
	3		企画部会9		
		企画部会10	区民会議フォーラム		

※第4期までの実績をもとに作成したもので、審議内容等により、実際の進行は変更になる場合があります。

第5期宮前区区民会議 26年度前半のスケジュール

4月3日 事前打ち合わせ会 区民会議について

- ◆基本自治条例DVD鑑賞
- ◆区民会議の概要の説明
- ◆任期2年間の流れについて
- ◆委員の自己紹介
- ◆地域課題把握アンケート配布（4月18日締め切り）

4月25日 第1回全体会 アイディア出しと意見交換

- ◆委嘱状の交付
- ◆委員長、副委員長（2名）の選出
- ◆審議テーマを決めるためのアイディア出し
- ◆次回全体会（7月下旬）の日程調整

5月26日 第1回準備部会 テーマ選びの方向性確認 意見のグループ分けと関連付け

- ◆審議テーマ選びの方向性確認
 - ▶区民会議で取り組むべきこと
 - ▶区民会議だからこそできること
 - ▶第5期のメンバーだからこそ取り組めること
- ◆すでに把握している課題との突合せ
- ◆課題の分類と関連付け

6月 第2回準備部会 審議テーマ案の作成

- ◆審議テーマ案作成

7月 第2回全体会 審議テーマ決定 専門部会発足、部会準備会開催

- ◆各テーマの優先順位づけ
- ◆審議テーマを決定
- ◆委員の所属部会を決定
- ◆部会準備会
 - ▶部会長の選出
 - ▶審議テーマについて自由に意見交換
 - ▶部会の日程調整
- ◆第3回全体会（10月予定）の日程調整

地域課題把握アンケート集計結果

第5期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野① 安全で快適な暮らしを支える [防犯・防災・交通、住環境]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
1	宮崎	交通	交通環境整備	区北部・南部の交通アクセス不備	JR武蔵野東線を旅客化、梶が谷貨物駅を起点に区内や多摩区に新駅を設置。新規路線建設に比べローコストで市北部住民の交通アクセスを向上できる。
2	大木	交通	交通環境整備	区役所へのアクセス不便	稗原～区役所間のバス路線増設
3	山田	防災	防災・減災	大災害発生が予想される中での防災・減災への対応力のあるまちづくり	現在進行中の安全・安心まちづくりを推進。 ・災害弱者（高齢者・保育園児）対策 ・市民、行政との協働
4	本郷	防災	災害時の生活用水確保	平瀬川の神木周辺が平菅生地区に比べ水との隔たりがあり災害時の利用が困難	水辺に降りる階段を作る。 ・親水機能による水辺空間の再生利用 ・河川活動を通じて地域コミュニティの深化
5	本郷	交通	交通環境整備	菅生地区は駅まで1時間かかる交通不便地域で若い世代が流出	地下鉄計画にあった「聖マリアンナ病院」への電車乗り入れの再考。あざみ野、新百合ヶ丘、登戸からの路線計画。
6	大槻	住環境	若者が住めるまちづくり	急速な高齢化、親子で遊べる場所不足、交通不便、老人の居場所不足	交通網の改善、保育園、介護施設整備、シェアハウス、働く場の創設、区外へのPR、公共データの活用。
7	大槻	交通	コミュニティバスの導入促進	東・中央・西に分断される地域、相互の交通不便により、横浜へ流れる	コミュニティバスの検討、カーシェアリングの検討。
8	大槻	防災	防災意識	直下型地震が想定される中での区民の防災意識、災害シミュレーション	災害図上訓練（DIG）実施、直下地震の想定、防災マップ作成、災害時要援護者等への対応、児童の帰宅方法。
9	青柳	交通	交通環境整備	区役所・市民館へのアクセス不便	行政と民間が手を組み、いくつかのコースを回るシャトルバスの運行。
10	鈴木	交通	交通渋滞	鷺沼駅前の車の流れが悪い（特に土日）、駅前の開発もまだなのか	市は検討をしているか。
11	川畑	交通	歩道の整備	自転車と歩行者、ベビーカー、手押し車の高齢者などの接触事故の恐れがある（特に歩道の狭い道路、往來の激しい道路）	自転車と歩行者の区分設置 子どもや高齢者障害者にやさしい歩道スペース設置、交通環境を整備する

地域課題把握アンケート集計結果

第5期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野② 幸せな暮らしを支える [地域福祉・健康]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
12	青木	高齢者	認知症予防	超高齢化社会で問題になる認知症への対応	学習・運動・栄養・環境等により認知症を予防する情報を専門家と相談し発信する
13	小田	高齢者	高齢者の外出促進	高齢者が安心して外出できる環境づくり	受け皿の充実（どこへ行けば何があるかを知らせる工夫、いろいろな支援）。一人で悩まないような子育ての支援も。
14	山田	高齢者	認知症・孤独死対策	増加する後期高齢者・認知症患者、孤独死への支援拡大	孤独死防止の見守りネットワーク運動拡大 ・専門家の対策に並行した支援 ・市民、NPO、包括支援センター、医療専門家、行政の協働
15	川田	高齢者	高齢者の病氣予防、生きがいづくり	孤立する高齢者（家庭内でも日中孤立）の増加。会話・笑顔・気力・覇気がなくなり認知力も低下。病氣も増える。若い世代、居場所がないのも問題	出張サロンの開催。希望する自治会を募集し区民会議がバックアップ。開催自治会メンバーが中心に地域性を考慮した場づくりをする。自分たちで考えれば次回につながる。持続性と労力が大事。道筋をアドバイスし精神的負担のない場づくりに配慮する。
16	川畑	高齢者	高齢者の孤独化	核家族化により孤立する高齢者が増加、閉じこもり・引きこもりからくる心身機能低下、認知症発症	公園体操の継続（老人ホームや保育所に有償ボランティアを促し、報酬はポイント制で還元） 社協、すずの会などのボランティア団体の協力を得て見守り・デイサービスへの参加を促進 よろずシニア本舗を高齢者向けの寄合場所とし必要に応じて高齢者支援の事業所紹介や専門機関に繋げる

地域課題把握アンケート集計結果

第5期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野③ 人を育て心をはぐくむ [子育て・生涯学習・人権]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
17	葛西	子育て	幼児の外遊び啓発	子どもの体力低下が問題となるが、外遊びを重要視しない保護者が多く、緑や公園の多い宮前区から外遊びの重要性発信が必要	文書等で区民に啓発。幼児期の外遊びの重要性についての講演会。外遊びボランティア団体支援。公園では「大声を出さない」の掲示や保育園児が遊んでいると警察を呼ばれた例も。地域住民にも理解を求める方法も必要。
18	葛西	子育て	親子の地域とのつながり	子育ての悩みを持つ親同士の話し合い、仲間づくりで孤立化防止	仲間づくりの大切さをテーマにした講座はNPOや民間でも多くあるが、宮前親子学級は25年の蓄積がある。市民館やボランティアとの協力でセミナーを実施してほしい。
19	滝本	子育て	冒険遊び場の継承	まだ課題がある外遊びを、市民と行政がつながり、素晴らしいと思える地域づくり	これまでの取組の見直し。
20	細谷	世代間交流	高齢者と子供の交流	高齢者施設と保育所が多くなっているが交流がない	それぞれの施設間交流を行政が取り持つ仕組みづくり。
21	田辺	子育て	ひきこもり	子ども・成人のひきこもりにより社会復帰困難、家族の負担、最悪の場合は自殺	財団法人メンタルケア協会と契約し「精神対話士」を学校や家庭に派遣（町田市のケース）。引きこもりやうつ病は誰でも起こりうる。これを認識したうえで地域を支えることが大切。
22	田辺	子育て	ベビーシッター問題	ネットで知ったベビーシッターに子どもを預けるのは危険が多すぎる	資格認定制度の設置が必要。国の対応を待つ必要なく独自に対策を講じてもよいのでは。区内の子育てグループに声をかけ、その卒業者を中心にベビーシッター団体を結成してもらうなど、身元のはっきりした人に預けるべき。
23	川畑	子育て	子育て環境整備	①認定保育園整備が不十分 ②子連れで楽しめるイベント周知不足 ③医療費助成の制限 ④中学校給食	①予算をとって整備 ②民間イベント広告会社と提携しWEBで常に発信できるように ③市に働きかけ小学校まで無料化 ④中学校まで給食を提供する予算組み

地域課題把握アンケート集計結果

第5期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野④ 自然環境または生活環境を向上させる [エコ・自然・公園]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
24	小田	公園	休日を過ごす憩いの場所づくり	都心や横浜に勤務する働き盛りが休日にくつろぎ憩える場所が必要	遊歩道、里山、川岸の景観を維持し、利用しやすい整備（ベンチ、トイレ、ホタルやメダカの放流、動物・野鳥マップ作成）。
25	本郷	自然	里山管理への支援	里山特有の自然が開発により失われている。市民の手で守るための資金支援が必要	里山管理の基本（草刈、雑木材の伐採）への支援（新規企画には手厚いが同じ作業の繰り返しには資金支援がない）。
26	細谷	公園	公園美化運動	公園にごみ箱がなく、ごみのポイ捨てが目につく。ごみのないきれいな公園に	一人でも花壇づくりをしてくれる市民を求め、花などを植えることでごみの放置が防げる。
27	鈴木	自然	緑の減少	緑が毎年減少しているが開発等における市や区の制限はないのか	区民で話し合うこと
28	川畑	自然	ごみ問題	①プラスチックごみが増え置き場に困る ②ごみ箱が近くになく空き缶等が投げ捨てられている	①プラスチックごみ回収を週2回に増やす ②ごみのない環境整備。せめて自販機横にごみ箱設置を義務付ける

分野⑤ まちの活力を高める [産業振興]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
29	宮崎	産業振興	宮前区工業会の設置	工業会（産業振興会）がなく、産業基盤が脆弱	地域イメージに合致したソフト産業（生活、スポーツ、文化芸術等）の振興のため、工業会を設置。行政と民間との協働で産業を振興。
30	佐々木	産業振興	働く場所の拡充	昼間に働く世代が区内にいと緊急事態にも対応しやすく街の発展にも寄与	大企業や工場の誘致ではなく人の力が必要な業種（IT、コンテンツ制作、農業、介護、etc）を支援する仕掛けが必要。 区民な頭脳力は高い層が多い。それらを活用できればよい。弱点は「生意気な層」も多い所

地域課題把握アンケート集計結果

第5期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

10

分野⑥ まちの魅力を発信する [魅力発信・芸術振興]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
31	笹川	伝統文化	伝統の継承	若い世代の古典芸能への興味関心がなく、継承が困難	市民館等を利用し専門分野の専門家に指導を仰ぐ（無償、ボランティアで、特に子どもたちに）。
32	葛西	魅力発信	若い世代の世帯の減少	向丘地区の高齢化、若い世代の減少	自然に恵まれ古くからの住民も多い成熟した地域でボランティアも活発で子育てしやすい環境がある。これをアピールできないか。不動産関係者への広報活動、インターネットによる広報など。
33	小田	魅力発信	区の特徴や魅力を知らない人が多い	魅力を知ること自分たちの住むまちに愛着や幸せを感じてもらうことが必要	区の自然遺産、文化遺産、歴史遺産の選定（名所10選など）、または「名所と民話めぐり」。
34	青柳	魅力発信	PRとまちの活性化	多くの人が宮前区を訪れてまちを元気にする	商店街、生産農家、企業が連携しながら地域の名所旧跡・伝統を織りむ広報を内外に発信。区内を観光するツアーバスの運行、イベントの開催。
35	滝本	魅力発信	着地型、物語型の観光	ひとつの団体で持つ課題・ノウハウを共有（物語としてならつなぎやすい）、高校・大学生の参加	ひとはまちの宝、資源。

地域課題把握アンケート集計結果

第5期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野⑦ 地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する [地域コミュニティ・区役所サービス]

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
36	宮崎	地域コミュニティ	総合的な委員会組織の必要性	現状の活動の社会的影響が低い	政・財・官・学・メディアと横断的・学術的な組織の発足で地域を活性化。たとえば、「川崎タウンビルド委員会」
37	笹川	市民活動	市民活動団体への参加促進	地域市民とのコミュニケーションに心掛け活動するが、市民の参加が少ない	区の広報紙、市民団体のパンフレットを幅広く配布し周知啓発をしていく。
38	葛西	地域コミュニティ	市政だよりの広報と町内会参加促進	市政だよりを知らない世帯が多く、町内会で配布していることも、町内会の存在も知らない	地域参加のためにも町内会の加入は必須であるため、転入者に市政だよりに関するの広報チラシを配布（見るとメリットがあるという内容で）。町内会の地域と連絡の仕方も掲載。
39	山田	地域コミュニティ	地域活性化	地域意識の希薄に対抗する町内・自治会活動の活性化	加入率の維持・改善。 ・町内会活動のさらなる知識普及と加入促進 ・市民、行政との協働
40	大槻	世代間交流	世代間交流で共に生きるまちづくり	地域の活動団体同士の情報共有・連携不足、核家族化、川崎都民	シニア世代の知識・体験を子供に語り、社会を生き抜く力を育成（語り部プログラム）。市民館等で開催、小中学校の空き時間利用など
41	滝本	地域コミュニティ	居場所づくり	自宅と職場以外の第3の居場所づくり	情報ラボで住民からの情報発信、雑談から団体と団体、人と人のつながりづくり。
42	滝本	地域コミュニティ	市民広場の活用	市民広場が多様性を持って活用され、市民活動への参加のハードルを下げる	若手農家、個人店主による特産物等の販売、あらゆる世代による応援。
43	鈴木	地域コミュニティ	一人暮らし老人	古い住宅、団地で一人暮らしの老人が多く、火事などでは近所の連携が大切	近所との連携を密にし、日ごろからヘルパーや民生委員とのつながりが大切
44	佐々木	地域コミュニティ	活動拠点	公共施設は交通不便なところが多く、雰囲気がおしゃれでない（入りにくい）、一部のグループが占領	交通の便がよく大きめの公園を利用した「パークカフェ」を設置。みんなが気軽に利用しやすく交流も生まれる入りやすい雰囲気作りのため運営は民間（NPO含む）に任せるとよい

分野⑧ その他の課題

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
45	小田	区民会議	第4期提案の継続、発展	取組をいくつか取り上げ、テーマや内容を変更しながら継続、発展し、広く周知	マップや印刷物などを利用したPR。地域の活動団体、グループ、自治会、町内会に協力要請。
46	本郷	区民会議	地域課題対応費に区民会議の関与を	区独自の課題を解決するため、地域課題対応費を区民会議のもとで活用	区民会議が関与できる仕組みづくり（9月までに作り上げ、3月には課題の一つでも解決を）。
47	大槻	中期的な課題	高齢化、交通不便解消、区の核がない、施設不足	さまざまな要因から、人口の割には自己完結型の地区ではない	検討グループを設置（中期的に取り組むべき課題対応）、区の社会インフラ整備。
48	青柳	広報	広報掲示板の見直し	掲示板の効果を高めて広報の充実を図る	掲示板にアクリルカバーで状況改善。広域避難場所等の明記。